

小枝 至 新理事長が就任

10月1日付で、元日産自動車(株)代表取締役共同会長、現同社名誉顧問の小枝 至（こえだ いたる）さんが、当財団理事長に就任されました。小枝さんは日産自動車において、人事、購買、海外事業等を統括され、また、自動車工業会の会長を務められました。それらのご経歴による高い視座と豊富なネットワークをフル活用して、これからの財団を率いて頂くことになりました。以下に、早速、財団理事長としてのメッセージをいただきました。

< ごあいさつ >

近年、日本の国際競争力の低下が続くことに憂慮し、科学技術立国の基盤たる人材育成への関心が益々高まっています。また、VUCA（変化が大きく、不確実で、複雑で、曖昧な）の時代にあって、これまでの官製の知識教育システムの限界を認識し、未来に向けてどんな人材をどう育てるのかを、国と産業、家庭、地域がそれぞれ熟考し、協力することが重要です。



日産財団は、1974年、科学技術の発展に資する学術研究を支援するために「日産科学振興財団」として設立されました。その後、財団は活動の幅を人材育成に広げ、2011年に「公益財団法人日産財団」と改称しました。以来、企業系公益法人として価値の高い事業を模索し、現在「科学的・論理的思考能力の育成」「理工系女性の拡大」「リーダー人材の育成」という3つの視点から、学校、企業、NPOの境界を越えて事業を展開しています。

日産財団は、人材育成を通じて、豊かな未来社会の実現に、少しでも、お役に立ちたいと考え活動を続けて参ります。皆様の温かいご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

* 小枝さん理事長就任に伴い、前理事長の久村さんは副理事長に就任されました。

理科教育賞 受賞校を訪問

例年、7月に理科教育賞贈呈式において受賞校を決定し、その後8月から9月にかけて、学校名を彫り込んだ記念の楯を持って受賞校を訪問しています。今年大賞を受賞した横浜市立三ツ沢小学校では、9月18日の朝礼で受賞記念式典を設けていただき、八百余名の児童と先生方、市教育委員会等来賓の皆様と一緒に受賞を祝いました。

財団からのお祝いメッセージとして、三ツ沢小が全員で日本一の理科授業を作り上げたことを称えるとともに、同小の理科で育った子どもたちが将来、科学技術で豊かな社会を作っていくってほしいという、日産と日産財団の願いを伝えました。



理科教育賞大賞記念式典 三ツ沢小学校にて

理科教育賞が新聞に

8月29日には、福岡県飯塚市の市役所を訪問し、理科教育賞を受賞した飯塚東小学校への楯の贈呈式を開きました。同市市長はじめ教育長、飯塚東小校長、受賞された先生の皆様に参加いただき、市を挙げての賑々しい式典となりました。

今回この式典のために市教育委員会がプレスを手配くださり、毎日新聞、朝日新聞、西日本新聞などで大きく記事に取り上げられました。（右は毎日新聞）

